

- 問1 7世紀当時の朝鮮半島と日本の関係について述べた次の文のうち、内容が正しいものを一つ選びなさい。 (2023年 福井県公立入試 類似)
1. 朝鮮半島の北部に位置する高句麗を救援するため、日本は新羅と結んで唐の軍勢を白村江で迎え撃ったが敗れた。

2. 唐と結んだ百済が日本へ侵攻してきたため、日本は新羅と協力して白村江でこれを防ぎ、国内の律令体制を強化した。

3. 朝鮮半島の南西部に位置し、日本と親交のあった百済が滅ぼされたため、日本は復興を助けるために軍を出したが白村江で敗れた。

4. 朝鮮半島の南東部に位置する新羅からの要請に応じ、日本は加羅の地域を統治するために大軍を送ったが、元寇と呼ばれる事変で敗れた。
- 問2 7世紀後半の東アジア情勢と、それに対する日本の対応について説明した文として、最も適切なものはどれですか。 (2018年 福島県公立入試 類似)
1. 白村江の戦いの直前、唐の侵攻を予見して太宰府の北側に水城を築き、西日本の諸豪族から徴兵した「防人」によって守備を固めた。

2. 白村江の戦いで敗れた後、新羅と同盟を結ぶことで唐の侵攻を防ごうとし、その外交交渉の拠点として太宰府の周囲に水城を設けた。

3. 白村江の戦いで敗れた後、太宰府を守るために水城を築き、さらに九州北岸の守備のために東国から兵士を集めた「防人」を配置した。

4. 白村江の戦いに勝利した後、朝鮮半島への影響力を強めるために太宰府を設置し、大陸からの使者を迎えるための施設として「水城」を建設した。
- 問3 天智天皇が政治の拠点として定めた場所は、現在の滋賀県にある琵琶湖付近に位置しています。この都の名称として正しいものを選びなさい。 (2021年 滋賀県公立入試 類似)
1. 難波宮

2. 大津宮

3. 藤原京

4. 飛鳥浄御原宮
- 問4 飛鳥時代において、従来の豪族を中心とした体制から脱却し、大王を中心とする国家構造への転換を目指した政治理念として、最も適切なものを選びなさい。 (2026年 宮崎県公立入試 類似)
1. 国民の権利に基づく政治

2. 天皇中心の政治

3. 地方豪族による分割統治

4. 武力統一による支配
- 問5 飛鳥時代、聖徳太子（厩戸王）が仏教や儒教の教えを取り入れ、役人としての心得を説くために制定した、日本最初の成文法を何といいますか。 (2020年 福島県公立入試 類似)
1. 大宝律令

2. 御成敗式目

3. 十七条の憲法

4. 武家諸法度
- 問6 飛鳥時代において、家柄にとらわれず個人の才能や功績がある者を役人として登用するために、冠の色によって位の高さを示した制度を何といいますか。 (2020年 京都府公立入試 類似)
1. 冠位十二階

2. 墾田永年私財法

3. 万葉集の編纂

4. 枕草子の執筆
- 問7 聖徳太子（厩戸皇子）が冠位十二階を定めた背景には、どのような意図があったと考えられますか。当時の政治状況を踏まえた説明を選びなさい。 (2023年 熊本県公立入試 類似)
1. 家柄の良い豪族をより厚遇することで、天皇に対する忠誠心を高め、国内の反乱を抑えるため。

2. 武士の台頭に対抗するため、公家の中で才能ある若手を抜擢し、軍事力を強化するため。

3. 特定の有力な氏族が政治を動かす仕組みから、天皇を中心とする役人による組織的な政治へ転換するため。

4. 中国の唐から伝わった最新の法典に基づき、全国に一律の税制と身分制度を導入するため。
- 問8 7世紀後半、白村江の戦いで唐・新羅の連合軍に大敗した倭国（日本）は、大陸からの侵攻に備えて九州北部の防衛を強化しました。この際、軍事・行政の拠点であった大宰府を防御するために、その北側に築かれた大規模な土塁と水堀からなる防衛施設の名称を選びなさい。 (2022年 神奈川県公立入試 類似)
1. 板付遺跡

2. 前方後円墳

3. 環濠集落

4. 水城
- 問9 世界最古の木造建築とされる法隆寺や、そこに安置されている釈迦三尊像に代表される、7世紀前半の文化の特徴として最も適切な説明はどれか。 (2018年 大分県公立入試 類似)
1. 唐の影響から離れ、日本の風土や生活に合わせた貴族中心の文化である。

2. 武士の台頭を背景に、力強さと写実性を重視した東大寺南大門などの文化である。

3. 大陸や朝鮮半島の技術を取り入れた、日本で最初の本格的な仏教文化である。

4. 聖武天皇の時代に、仏教によって国家を守ろうとする鎮護国家の思想が強まった文化である。
- 問10 大化の改新が行われた際、中国の制度にならって日本で初めて導入され、現代の「令和」に至るまで日本の歴史の中で継続して使われている制度は何ですか。 (2026年 愛媛県公立入試 類似)
1. 班田収授法

2. 租・庸・調

3. 元号

4. 律令
- 問11 古代日本が遣唐使を派遣し、唐の文化や制度を積極的に取り入れようとした背景や理由として、最も適切なものはどれか。 (2018年 大分県公立入試 類似)
1. 唐の優れた制度を学ぶことで、天皇を中心とした中央集権的な国家体制を強化しようと考えたため。

2. 唐がモンゴル帝国に滅ぼされそうになっていたため、軍事支援を行う見返りに領土を譲り受けるため。

3. 唐から大量の宋銭を輸入し、日本国内の貨幣経済を急速に発展させる必要があったため。

4. 唐との間で大規模な戦争が続いていたため、和睦の条件として唐の文化を受け入れるよう要求されたため。
- 問12 8世紀初頭に大宝律令が制定された目的や、その後の社会の変化について述べた文として、正しいものはどれですか。 (2020年 愛知県公立入試 類似)
1. 地方の豪族に世襲の特権を強く認めることで、中央政府への不満を抑え、内乱を防ぐため。

2. 武士の台頭に対抗するため、貴族が土地を私有することを法的に認め、都の経済を安定させるため。

3. 仏教を国教と定め、寺院が持つ強力な経済力や軍事力を国家の管理下に置くため。

4. 唐の優れた制度を取り入れることで、天皇を頂点とする官僚組織を整え、国家としての統治能力を高めるため。
- 問13 飛鳥時代、聖徳太子（厩戸王）が603年に定めた「冠位十二階」の制度は、それまでの「氏姓制度」による官職のあり方をどのように変えようとしたものですか。その目的として最も適切な説明を選びなさい。 (2022年 高知県公立入試 類似)
1. 地方の豪族に対して、領地の支配権を認める代わりに軍役を課すこと。

2. 仏教の教えを広めるために、僧侶に対して位階を授けること。

3. 家柄にとらわれず、個人の能力や功績がある人物を役人として登用すること。

4. 有力な豪族が代々特定の官職を独占し、世襲することを保証すること。